



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2012.05.11

No.00701

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：城出鴻二郎

幹 事：横澤啓二

連絡先：TEL 0297-66-3258 FAX 0297-66-3280 <http://rcrc.web5.jp>

事務所：〒301-0032 茨城県龍ヶ崎市松葉 5-12-6

例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【通常例会 05.11】

「地区協議会報告」

次年度各委員会

次回のプログラム

【通常例会 05.18】

「クラブ協議会①」

次年度各委員会

5月の主な行事：なし

第700回例会報告

点 鐘：城出鴻二郎会長

ロータリーソング：それでこそロータリー

ゲ ス ト：永原久様、中川宗憲様（東京ガス）

ビ ジ タ ー：なし

会長報告：城出鴻二郎



■昨日、ご期待の判決が出ました。政治の世界は一寸先は闇といいますが、まさに皆さん関係者は白内障状態のようで、どうなるのでしょうか。

■原発問題もどうするのか、と言うより兎に角にも動かしたい、の一念のようで、去年の今頃は止めたいの一念だった気がしますが、同じ政権でここまで違うのも珍しい気がします。命を懸けて何をしたいのか、政治向きではこの数年非常に軽い言葉になりました。結果が伴わないから余計に軽いというか、命を懸けているといながら、そのように見えないからそうならないのか、白内障になると見えない、スリガラスの向こう側のような世界、もっとも我がロータリーも同様です。政治もロータリーも観客としてみていて、自身は傍観者なところまで同じで、なぜこうなってしまったのか、日本人はいつの間に軟弱になってしまったのでしょうか。昔はと言うより、それぞれの年相応にメリハリが利いていたような気もしますが、私の思い違いでしょうか。

■本日の会報・亀尾さんのロータリー情報委員会のところですが、記載の通り、元々はロータリーの理論や教育的側面を中心に形成されていたのですが、英語的に明らかにインフォメーションと言うことで、単なる情報に置き換わってしまいました。これがきっかけではないのですが、理論や教育より、楽

な内容に流れてしまったようです。

そこに、新しく、DLPとCLPが発生したため、当初地区はと言うより私の担当でもあった関係で、そこは2つあって間違えないようにと説明はしていたつもりでしたが、理論と教育は後回しで新しくRIのPRが入り込んで、且つインターネットに代表される各種情報に置き換わってしまいました。結果残っているのはPR側面だけです。そこには、理論や教育は皆無で、クラブより地区が最初に消失した関係で、難しい理論や教育以前の単純なプロトコル自体も散逸し、手続き自体も形骸化と言うか、悪意は無くとも無知な処理になりつつあります。もはやロータリー組織の体をなしていないということです。

例を挙げれば、ガバナーノミニーの選出も数年前のドタバタも教訓に出来ず、まして本来の筋道も正さないままの状況で再度の不始末のテイタラクです。このあたりのことは長い歴史を誇る古参のクラブ諸兄はわかっているのですが、声にはせず、古参過ぎて無声映画のようです。そんな中で、毎年の地区行事です。

■明日は、地区協議会です。皆さん宜敷お願いいたします。例年より少し早いので、準備というか少し予習をしておく必要がありますが、よろしくお願いたします。詳しくは川上次年度幹事さんからお話があると思います。何か得るものがあればよいのですが、せいぜいがんばって聞き耳を立ててください。

幹事報告：横澤啓二



■第2650地区より6/1（金）開催の「第3回日台ロータリー親善会議」開催のご案内が届きました。そして、4月30日が締め切りですので、早急にガバナー事務

所までお送りください。

ほぼ意味のない案内ですが、お知らせいたします。

■地区事務所からのおぼかな案内・何をしているのかもわからずに配信しているようです。ばかばかしくて怒る気にもならず、誰かが言ったのでしょね。地区曰く常日頃、ロータリー活動にご協力いただき厚く御礼申し上げます。4月20日にお送りいたしましたメール設定のご案内の中で、全クラブのID及びパスワードを添付してしまいました。セキュリティの関係上、大変申し訳ございませんが、別紙の通り、各クラブにて必ずパスワードの変更をお願いいたします。併せてすべての添付資料を削除していただけますよう、ご面倒でもお願いいたします。こちらの手違いで、みなさまにご迷惑おかけいたしました事をお詫び申し上げますと共に、今後も変わらぬご指導のほど、よろしく願い申し上げます。情報伝達は横山さんをお願いしていますが、面倒ですが、どうなっていますでしょうか。ご確認ください。お願いします。

本日のプログラム

わが家で電気をつくる



東京ガス株式会社
常総支社長：永原 久
課長 代理：中川宗憲

■とうとう日本において原子力発電は1基も稼働しなくなりました。そのような中最近脚光

を浴びているのが「ガス」であります。このガスを使った発電について今回はお話することにします。

①エネルギーを家で作るからムダがない。:

従来による発電の場合、発電所から送電線、トランスを通して各家庭に達する場合、発電所を100%とすると利用されない排熱・送電ロス等により37%の利用率となってしまいます。一方ガスの場合は、ガス製造所からパイプラインを通過して各家庭に届きますので大変効率が良く、利用困難な排熱を除いても81%のエネルギー利用率を達成する事ができます。

②省エネを見えるかたちにする。:

リモコンから、自分の家で使ったエネルギー量やつくるエネルギー量をひと目で確認することができます。

③発電量:

毎日の暮らしの中で必要に応じて運転を行ない、0.25kW~0.75kWの電力を発電します。一般的な家庭の年間購入電力量は約5,700kWhですが、ガスを使えば家庭で利用する電力の約6割を自家発電で賄うことができます。

④お得な光熱費:

ガスなら年間の光熱費を約5~6万円軽減できます。(1戸建て住宅4人家族での想定)

⑤CO2削減効果:

ガスを設置することによって、約1,500kgの削減効果があります。

その他、日中に発電する太陽光発電と暮らしに合わせて発電するガスを利用するダブル発電の家は、ガスで作った電気からまず優先的に家で使うため、太陽光発電で作った電気の多くを売電に廻すことができます。



本日出席状況

会 員	20 名	出席率	60.00 %
出 席 者	9 名		
出席免除者	2 名	Make-up	3 名
(定款第9条3節a)	1 名	米島、小林、椎塚会員	

ロータリー豆知識

《 人づくりの奉仕 》

(亀尾会員)

奉仕というと、自分の持っている時間や物を、少しでも割いて他人に、社会に捧げることだと考えられがちである。現にロータリアンが行っている社会奉仕は、そういう範疇に入っている。しかし掘り下げて考えてみると、ただ求められるままに金品を寄付して、事終われりとする安易な態度がありはしないだろうか。我々が奉仕だと思っても、それはただ相手に安易な道を選ばせるにすぎない。そんな結果に終わってないか。これも貧しい時代にはそれなりの意味を持っていた。しかし豊かな時代の奉仕は、人間の心に向けるべきであろう。それには「人作りの奉仕」が必要で、変化していく社会に対応する豊かな人材を育てる努力が必要です。しかし、それ以前に自分自身を例会で研鑽する努力を怠ってはならないのではないのでしょうか。

ニコボックス (目標額 600,000 円)

本日 4 件 7,000 円 (本年度累計 391,000 円)

荒木会員：golferには、気の毒な天気ですね。
海老原会員：金環日食が5月21日にあるそうです。
川上会員：永原、中川様、本日宜しく願い致します。
横山会員：これからはガスの時代到来でしょうか

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに川上副
SAA TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。